

心記想伝



～これからあるべき精神基盤とは～



ある書籍での対談内容として掲載されていた記事で、戦後の日本人について、四種類に分類されていました。今一度、現在の精神基盤を見つめる一つのきっかけになるのではと考えましたので、ご紹介させていただきます。

- ① 「幸せそうに見えて、本当に幸せな人」
- ② 「不幸そうに見えて、本当に不幸な人」
- ③ 「不幸そうに見えて、実際は幸せな人」
- ④ 「幸せそうに見えて、実際は不幸な人」

皆さんは、どれに該当すると思いますか。一番良いとされるのは①の人ですが、このタイプは非常に少なくなり、反対に一番良くないのは②のタイプの人。③のタイプについては、例えば戦後間もないころ、日本人は貧しかったものの、家族が結束し隣近所で助け合って暮らしておりました。今の時代においても病気を患い、他人からは不幸に見えても、心豊かに生きている人も存在しています。そして現在は、④のタイプの人が多くなっているような気がしてならないとの事です。

④のタイプの人傾向として多いのは外面志向＝みてくれとか見栄、人の評価や外間、そういった上辺を重視してしまい、見せ方は上手になるものの、精神基盤が弱いとされる人。よって自身の主義主張、信念に欠けてしまい、周囲の大きな声に流され、徒党を組んでいってしまう傾向にあります。

やはり、今の時代は戦後にはなかった物や情報に溢れ、その時代には大切にされていたであろう、人としてあるべき尊厳や道徳観（知的資産）が薄れ、その結果として中身が整っていない、幸せそうに見えて実は不幸な人が増えたと感じられる、世の中になっているのかもしれませんが。以前にもご紹介をした内容で、両親から十代ご家族、ご先祖様を遡ると何とその数は2046人にもなり、その中の1人でもいなければ今の私達は存在していません。その奇跡のような事実をどうとらえ、大切にすることによって、家族や仲間との縁、学校、社会生活にまで至る、心のよりどころを見つけることができ、1人では決して成長することが出来ない人間力が磨かれていくものと思います。

その時代の価値観や環境に流されるのではなく、5月から始まる新しい時代「令和」に、心に記した想いを整備し、これからやるべき目標や進むべき道標を伝え、ご自身のペースで行動に移してみたいかがでしょうか。日頃の心構えひとつで、新たな可能性や自分を見つけることができ、より良い未来が拓けてくるのかもしれませんが。



横田

高齢者に優しい1階建て総合葬祭館。家族葬専用会場併設、法事・法要に対応。

ドリーマー中村葬祭館
「家族葬」という言葉を耳にするとお思います。家族葬とはどういったものなのでしょうか。お葬式に呼ぶ方の範囲を限定し、ご遺族やご親族だけで故人をお見送りするという形が多いと思います。場合によっては、予定外の方の参列の希望をお断りする事もあります。

一般葬と比べ、会葬者の数の予想が容易であり、会葬者に気遣いする事なく故人を見送ることができる長所もありますが、お葬式の後もお参りに来る方の対応に迫られたり、後に訃報を聞きお別れできなかった方から不満の声があがる場合があります。また、香典収入が少ない為、費用負担が多くなるといった短所もあり、家族葬をされる場合には、大事な方へのご連絡の範囲をもう一度考えてみるといいでしょう。



山本

ドリーマー会員を募集しています

20万・30万・50万円と、お客様に最適なプランが選んでいただけるのでご安心です。

メリット1:冠婚葬祭・七五三・成人式・法事法要・年祝い等各種行事にご利用可能!!

メリット2:会員様イベントが充実!! 定期的にご案内し、楽しんでいただいております!!

メリット3:積み立てをしておくことにより最終的な負担を軽減!! 安心ができます!!

詳しくお聞きになりたい方はお気軽にお問い合わせください。



高野

3月末日、ドリーマー中村葬祭館で終活セミナーを開催しました。今回は税理士の方に、相続について分かりやすくご説明していただきました。当日、お集まりいただいた皆さま、税理士の皆さま、本当にありがとうございました。



難しく思うかもしれませんが、税制から相続手続の流れなど、全体像をつかんで頂けるよう、丁寧にお話ししていただきました。老後のライフプランのヒントを得られた方も多かったのではないのでしょうか。



山本

また、お役に立つセミナーなど開催していきますので、かわら版をチェックしてくださいね!



兵頭

ちょっとだけ勉強のコーナー

葬儀の時、香典返しや会葬礼状などと一緒にお塩がついています。このお塩は「お清めの塩」と言われ、お葬式から帰宅した際に自宅の玄関先で体に振りかけ、身を清めるために使われます。昔の日本では、天災や病気などの良くないことが起こった時、塩で身を清めて厄を逃れるという風習がありました。

特に、神道では「死」を穢れたものとして捉えられていたため、葬儀後は穢れを取る目的で海に入ってみそぎを行ったり、体に塩を振ったりして身を清めたと言われていました。古来の日本では神道信者の方が多かったため、その名残が「お清めの塩」として残っています。昔は現代に比べて衛生的な環境が整っていないという背景も加わり、腐敗を遅らせたりする効果がある塩を振る行為には、大変重要な意味があったようです。

ただし、神道の言う「穢れ」というものは、死を招いた「邪気」を指していて、決して「故人の霊を祓う」という意味ではないということと、仏教では、成仏した後は仏になるという考えが根本にあるため、生と死をひとつの世界として捉え、死も穢れたものではないと考えられています。

塩を振るというお清めの行為は、昔ながらの風習として仏式の葬儀においても行われていますが、浄土真宗の葬儀ではお清めは行いません。



横山

ドリーマーからのお知らせ!

5/9 (木)
蕨岡生活改善センターにて終活セミナーを開催します。難しく考えるようなことはありません。ささいな疑問・質問にもお答えさせていただきます!



佐竹

時想 ～四万十市古津賀H様より～

うららかな季節になりました。皆様ご機嫌いかがですか。昨年十二月に逝った父。さぞや今頃は、花見の宴の散りてこそ惜しまれもする。の句につられ、ついお礼を!と思つた次第です。先般は有難うございました。

まごごう

伝えた事など、氏名・住所・連絡先を入れてお送りください。



法事法要も承ります

- 一、会館法要なら手間いらず
ご自宅のお掃除・後片付けが不要
 - 二、必要品は全て対応します
返礼品・お供え・お料理など
 - 三、110高年齢の方にも安心
すべて館内で移動もスムーズです
 - 四、大きな駐車場を完備
大人数でも駐車場に困りません
- 各種回忌法要が行えます

心記想伝

お葬儀かわら版

H.31.4月 第74号

〒七八七-0009
四万十市佐岡四四六番地
☎〇八八〇-三五一五〇五五